

運送業界の健康支援を生きがいに

151 心の通う健康支援を目指して

本連載も151回目、実に13年もの間、『私の生きがい』にお付き合い頂くことになりました。先日、たまたまパソコンフォルダーから、13年前の1月掲載原稿のタイトル、「健康支援は心に深く響くもの」を見つけ、その頃の気負いめいた気持ちに気恥かしさを感じながらも、「自分はそのような足跡を辿ってきたのだろうか」と、重ねてきた13年という年月に自身の仕事ぶりを振り返ることになりました。ただ私は、連載を執筆する上で、一度もテーマに困ったことがありません。季節の健康管理、法律関連、身近なエピソード、もちろんOCHISのセミナーや新規事業の紹介など、お伝えしたいことがいつも湧き上がるのは、幸いにも「まだまだ息切れしていないな」と、この仕事に携わらせて頂いていることを有難く感じていきます。

さて今年、まず紹介したいのが、『運輸ヘルスケアナビシステム』の実証実験後に頂いた、ある事業者からの次のような感謝の手紙です。

「弊社におきましては、社員の健康面の管理を各個人任せであったため、このままでは高齢化していく社員の健康を維持していくのは難しく、何とか会社としてできることはないかと模索していたこと

ろ、この実証実験を知り、ぜひ参加させていただきたく申し込みをしました。結果は驚くべきものであり、なぜもっと深く掘り下げて対応してこなかったのかと反省する機会になりました。これから社内においてドライバーの健康面のフォローを行うための具体的な取り組みの検討を行います。(中略) 深く感謝申し上げます。今後ともお知恵をいただけたら幸いです」

今年は今全協の健康起因事故防止対策の柱とも言える、「運輸ヘルスケアナビシステム事業」の本格スタートが予定されています。全協とガッチリタッグを組み、1社でも多くの事業者から、このような心の通ったお手紙をいただけるよう最善を尽したいと思えます。ナビシステムがトラック業界には当たり前前の健康支援ツールと活用されるようになれば、業界で働く人々の健康や生きがいに繋がります。健康起因事故は減少すると確信するものです。本年もよろしく願います。

(次回は2月12日号に掲載)



《全日本トラック協会 SAS 検査受託機関》
NPO 法人 ヘルスケアネットワーク (OCHIS)

副理事長 作本 貞子

「安全と健康を推進する協議会(両輪会)代表
国土交通省健康起因事故対策協議会委員

TEL : 06-6965-3666

FAX : 06-6965-5261

東京オフィス TEL : 03-3295-1271

E-mail sakumoto@ochis-net.com

HP <http://sas.ochis-net.jp/>